



2010.3.5

vol.47

発行元：西宮渡辺病院

〒662-0863 西宮市室川町10番22号  
TEL:0798(74)2630 FAX:0798(74)7257

ホームページ <http://www.n-watanabe-hosp.jp/>



## 奇跡の生還。其の一

西宮渡辺病院 院長 蓮池 康徳

我々外科医は、人の一生のうちの大きな分岐点に立ち会うことが多い。外科医が治療しなければいけないような重病は、なおるにしろ、なおらないにしろ、患者さんの運命を変えてしまう。我々外科医もまた、その病気の治療を通して、その人の運命に影響を与える。もちろん、すべてが良い結果になるわけではない。しかし、改めて振り返るとそのなかに、絶望的と思われた患者さんが、奇跡としか言いようのない生還を果たされることが一度ならずあった。思い出話として聞いてもらいたい。

その患者さんは、意識障害や発熱、出血傾向(全身の血が止まりにくくなる現象。感染が致死的に近くなったときに起こる)で入院された。僕が研修医時代にICU勤務となったとき、最初に主治医をさせていただいた患者さんである。診断は肺炎球菌による化膿性髄膜炎であった。

入院2日後に昏睡となり、血小板が8千まで落ちて(正常は10万以上)体全体に出血斑が出た。そこで、ICUのカンファレンスでペニシリンとFOYの大量療法が選択され、抗生剤の髄膜内注入も採択された。最初の脊髄穿刺の際には、膿汁が排出した。今考えると、誰もが救命できるとは思っていなかっただろう。主治医である僕を除いては。僕は全く先行きのことは考えず、少しでも回復するようにとひたすら願い、カンファレンスで決定したことを毎日、忠実に、懸命に続けた。1週間後、出血傾向はおさまったが、髄膜内注入は数回で不可能となり、

昏睡はほぼ1ヶ月間続いた。当然、意識は戻らないだろうと思われたので、気管切開もした。ところが、ある日、看護師さんが大慌てで僕のところに飛んできた。「先生、あの患者さん、目が開いています!」。炎症はおさまったものの、それ以上の回復はやはり望めないだろうと思っていた矢先だった。その後、患者さんは順調に回復を続け、結局、1年あまりで歩いて退院されたのだった。

現在、診断や治療のガイドラインがいろいろな分野で整備され、エビデンスのない治療法は排除されつつある。確かに、科学的に効果が立証された方法を用いるほうが治療はしやすい。しかし、誰もが諦めた病気に対しても、立ち向かわねばならないときがある。そのときに必要なのは、純粋に患者さんを助けたい気持ちと、皆の数限りなく重ねられる検討や技術、そして患者さんの持つ回復能力であり、それらが一致したときに奇跡が起こるのだと、このとき初めて知った。この経験が僕に、医者として生きる道を教えてくれた。

### 蓮池康徳 院長 ご紹介



大阪大学医学部第二外科入局後、国立大阪病院医長、兵庫県立西宮病院部長、医誠会病院副院長を経て本年1月1日より当院院長に着任。

日本外科学会 専門医・指導医

日本消化器外科学会 専門医・指導医

日本肝胆膵外科学会 評議員・高度技能指導医 など

# 眠っている間に呼吸が止まる 睡眠時無呼吸症候群

西宮渡辺心臓・血管センター  
センター長 民田 浩一

## ✦ 睡眠時無呼吸症候群とは？

睡眠時無呼吸症候群(SAS: Sleep Apnea Syndrome)は、気道の閉塞などが原因で、睡眠中に何回も呼吸が止まる病気です。いびきや起床時の頭痛、日中の眠気や倦怠感などの症状があります。また、高血圧や脳卒中などの循環器疾患や、糖尿病などの合併症を引き起こすこともあります。そのうえ、日中の眠気のために、交通事故や産業事故などを引き起こす可能性があります。ですから、患者さんに合わせた、適切な検査と治療が必要です。

## ✦ 合併しやすい疾患

高血圧・虚血性心疾患・動脈硬化・脳循環障害・糖尿病・多血症

## ✦ 睡眠ポリグラフィー検査とは？

睡眠時無呼吸症候群の原因や重症度を調べたり、治療方法などを決定するためには十分な検査が必要です。睡眠ポリグラフィー検査は、睡眠の状態を全体的に調べる検査です。入院して頂いて、脳波や心電図、胸部の動き、血中の酸素量などの検査端子を体に取り付けて一晩寝て頂きます。痛みは全くありません。



SAS-2100

## ✦ 治療方法とは？

適切な治療を行うと日中の眠気や倦怠感などの症状がなくなるだけでなく、合併症を予防したり、改善することができます。

軽症の方は、減量や飲酒を控えるなど生活習慣の改善により症状が軽減したり、無くなることもあります。中症～重症の方は、CPAP療法が第一選択です。

### ● CPAP(シーバップ)療法

鼻マスクから気道に空気を送り込み、気道の閉塞を防いで無呼吸を無くす治療法です。CPAP治療を受けて頂く場合は、睡眠ポリグラフィー検査後さらに1～2日の入院が必要となります。また、当検査後一旦退院し、後日CPAP治療を導入することも可能です。

当院では、まず外来で問診や携帯用睡眠時無呼吸検査装置を用いた簡単な検査等を行い、睡眠時無呼吸症候群の疑われる方には、日程をご相談し入院してより精密な検査を受けて頂いておりますので、お気軽にご相談ください。

## 回復期リハビリテーション病棟 開設



平成22年1月、西宮渡辺病院2階に40床の回復期リハビリテーション病棟(以下、回復期病棟)を開設しました。手術直後や発症直後の急性期治療を経た後、病態が回復過程にある患者様を対象に、自立支援・介助量軽減・安心の提供(退院後の生活指導)を目的として集中的にリハビリテーションに取り組んでいただくための病棟です。



回復期病棟の特長は、チームアプローチと十分なリハビリ時間の提供にあります。そのため、理学療法士と作業療法士が同じ部屋で隣り合って仕事ができるようリハビリ室を模様替えしました。言語聴覚士を交えたりハビリスタッフ間の情報交換も、今まで以上に細かく頻繁に行うようになりました。また、リハビリスタッフをある程度専属で病棟に配置することにより、医師や看護師、介護スタッフ、医療ソーシャルワーカーなどの関連職種との連携も一層スムーズにスピーディに行うことができますようになっています。

今後とも、病棟専従スタッフの増員やチームアプローチの推進を図り、患者様やご家族様へよりよい支援を提供していきたいと思っております。ご意見・ご要望があれば、お気軽にスタッフまでお声掛け願います。



回復期リハビリテーションスタッフ

理学療法士 奥本 寛

## 低周波治療器「PASシステム」について

最近、ある新聞で、**PASシステム**という機器が紹介され話題になりました。その後当院でも患者様からこの機器に関する問い合わせが多くなっています。

PASシステムとはいわゆる低周波治療器のことで、電気刺激により目的とした筋肉を動かすことにより治療するリハビリ機器です。すなわち、脳卒中や神経損傷などの後遺症により麻痺した筋肉の機能回復に用いるのですが、この装置の特長は、筋電(筋肉が動こうとする際に体内に生じる電気)の強さに応じた電気刺激を与え運動をアシストすることができるということです。そのため、従来の低周波治療器に比べてより効果的に個々の患者様の状態に応じた治療を行うことができるようになりました。2009年の脳卒中治療ガイドラインにおいても、この電気刺激療法は筋の再教育に有効であり、通常のリハビリテーションに加えて行うことが勧められています。



PASシステム

しかし、言うまでもありませんがPASシステムは、これを行えば必ず麻痺が回復するというものではありません。他の物理療法機器と同様に使用の際には適応と禁忌がありますので、関心のある方は、是非お気軽にご相談下さい。

リハビリテーション科 主任 松崎 光裕

元阪神タイガース

赤星憲広選手より

車椅子をいただきました



元阪神タイガースの赤星憲広選手は、2003年より毎年ご自身の年間盗塁数と同じ台数の車椅子を全国の施設や病院などに寄付されています。

現役最後となった2009年は31台を寄付され、その中の1台をこの西宮渡辺病院がいただきました。

この車椅子は今後より多くの患者さまに役立つよう活用させていただく予定です。

みんなでつくる健康セミナー

開催報告

1月30日、西宮渡辺病院にて定期開催中の『すいすい健康講座』の拡大版として『学んで治そう健康セミナー』第2弾を西宮市民会館（アミティホール）1階にて開催しました。108名の皆さまにご参加いただき、大盛況に終わりました。ありがとうございました。

今回は6月12日（土）14時より、同じく西宮市民会館の1F大会議室にて第3弾の開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。



【予約・問い合わせ】0798-36-1166 健康塾 石田

第11回

ヘルスケアレストラン

ご案内

毎回ご好評頂いておりますヘルスケアレストランは今回で11回目を迎えます。以下の日程で開催いたしますので、ふるってご参加ください。

「日本食の良さを再発見！！」

～行事食を通じて～

日時：平成22年3月27日（土）12：30より

場所：西宮渡辺心臓・血管センター 5F 食堂  
健康塾

会費：1500円

内容：食前リフレッシュ体操（健康塾にて）  
行事にまつわる食事  
管理栄養士による栄養アドバイス

※切：3月19日（金）正午

【予約・問い合わせ】0798-36-1166 健康塾 石田



敷地内全面禁煙の

お知らせ

現在、西宮渡辺病院は全館禁煙（建物内のみ禁煙）ですが、本年4月1日より敷地内全面禁煙に移行致します。それに伴い、現在は正面入り口付近に喫煙スペースを設けておりますが、そちらも3月中に撤去致します。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、4月より西宮渡辺心臓・血管センターにおいて木曜午前に**禁煙外来**を開設する予定です。禁煙を始めてみようとお考えの方、かつて禁煙

に挑戦したものの失敗した経験のある方など、少しでも禁煙に関心のある方は是非、当院の禁煙外来をご利用下さい。

尚、禁煙外来の詳細は追ってご報告致します。



当法人は看護師を募集しております

西宮渡辺病院、西宮渡辺心臓・血管センターでは看護師を募集しております。常勤勤務・パート勤務などご相談に応じます。まずはご連絡下さい。

0798-74-1771 事務部長 山岡

むろかわNews に対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

※ 当院各階詰所・1F 出入りに設置しております「ご意見箱」をご利用ください。

編集  
広報委員会